

山 想

平成31(2019)年度

8月号(8月30日発行)

川崎橋山想会

=事務所=

〒213-

はじめに

山想8月号をお届けします。8月と言えばスカッと晴れた“なつぞら(NHKの連続テレビ小説ではありません)”のもとでの夏山合宿がメインの山の会ですが、今年の天候は外れたようです。僅か2隊3名が行動しただけで、後半隊は台風にあって「中止」を余儀なくされたようですが、ネパールに出かけた8名のトレッカーも例外ではありません。最もこっちは雨期の季節のトレッキングでしたが、行動中は1日も降られずという運の良さです。もしかすると後半隊には雨男と称される〇〇さんが参加していたのでは？。それは別として全てが無事終了しました。次はBBQと救助訓練にむかひましょう。

企画山行報告

◎夏山合宿・滝谷ドーム中央稜

(報告者: Ii Yo)

8/10~12 L.Ii, Ii

新人の時の夏合宿以来の10数年振りの穂高。

当時に比べフレッシュさが足りないのは如何ともしがたく。涸沢に入るまで既にグッタリ。さらに久々の高度で頭痛がするが、軽量化と称してあえてバファリンを家に置いてきていて万事休す。

耐ハイ1缶で撃沈し、もう寝る以外に選択肢が無く、17時に就寝。その甲斐あってか翌朝は2時前に目が覚め、3時前に出発したのに既に9人待ちの渋滞。

魔が差して“滝谷行っても良いよ”なんて言うてしまいましたが、この時点でくすぶっていた後悔が確信に。“やっぱり来なきゃ良かった。”

湯川であれば車を降りて2分で取り付き、天王岩ならバス停から1分。それに比べて2日かかりのアプローチに渋滞待ち、二度とごめんです。

とはいえ、登り始めればそれなりで、フリーとは異なる楽しいルートでした。

でも、お楽しみはこの2時間足らずのみで、ここからは辛くも長い下山。横尾まで下りて最終バスに間に合う可能性を見出すや、競歩選手並みの歩け歩けで、なんとかかセーフ。

本当に疲れましたが、この山行で一番の達成感。やったぜ僕、よく頑張りました。

でも、そんな僕より重い荷物を背負っていたIiさん、あなたには敵いません。

終わってみれば、たまにはこんなのも良いかな？と悪魔のささやきが。「Iiさん、またどこかに行きましょう。」ってことに、万が一なったらよろしくです。

◎マナスルトレッキング(報告者: Ka da)

8/9~24 L.Ka, Oo, Fu, Ya,

Na, Ki, Fu, 他1名(Ka・姪)



8/19 最高地点ラルキャ・ラ(5160m)に到着

無事下山して電波の届く所まで来ました。

この時期ネパールは雨季なので雨の心配をしましたが、運よく日中雨に1度も打たれる事なく良い天候に恵まれ、圧倒される山々の景色に毎日が夢の時間でした。

ただ致命的なアクシデントがあり自分の未熟さ及びリスクヘッジの甘さを痛感しました。

それはマナスルへの第一日目が始まる前日でした。カトマンズを離れトレッキングのスタート地点の宿で軽くビールを飲んでる先輩達。気が付くと10本ほど瓶ビールが空になっていて、すでに十字屋状態。共同資金の残高に不安がよぎります。

今回の食費は余裕を持って1人3万ルピー分持参していました。食費で2万、残り1万で道中のコーヒーやクッキーなど各自の飲み食い代に使う計算をしていました。

実際に過去、自分がトレッキングした時は、飲食代この日程では1人2万ルピーで十分足りるはずなので今回の3万ルピーは問題ないという判断です。

ただ、まさか出発の前日からビール代で7000ルピーも使うとは。1日で7000ルピーも飲まれるとこの先の工程、どう考えても足りません。

仕方ないので次の日Ooさんにお酒を「あと数日は許可しますが本数を減らしてください」と頼むと、すんなり承諾。

Yaさんを管理係りにしようと言うことになり、Yaさんに「今日は5本までにしてください」と頼みました。

これまた承諾を得ましたがここでミスがありました。Yaさんはお酒の数を数えられなかったのです。

結果的に翌日は7本だったので前日より減らしてくれたのですが、焼け石に水。この現状なら禁酒を提案したい所ですが、せっかくの旅行です。酒を禁止するより飲める方法で解決策を考え、2日目の朝にガイドに酒代が足りないから貸してほしいと頼み、ガイドの手持ちの有り金の殆どを借りる事に。

これでビールは飲めるけど、本数を減らす事を約束してもらいました。2日目にして借金です。しかし誤算は続く。酒飲みは一筋縄ではいかない。ビールの本数は減らしていただきましたがそれ以外の地酒にラム酒など飲みだして、これはビールでは無いという大人気ない言い訳をして飲みだす始末。

人の欲が深いことは知ってましたが、ここまで底が見えないとは。自分の未熟さを反省するばかりです。この年で勉強させてくださった先輩方、誠にありがとうございました。



マナスル (8163m) 世界第8位の高峰

1956年5月9日、今西 壽雄、ギャルツェン・ノルブが日本人隊として初登頂。

集会報告 (8/7)

場 所：高津市民館 11階 第一会議室

出席者：17名

連絡欠席：3名、

1、夏山合宿最終打合せ

1) ネパール・マナスルトレッキング

期 日：8月9日～24日 (16日間)

メンバー：C.LKa、S.LOo、Fu、Ya、Na、Fu、Ki、他1名

2) 槍・穂高周辺／本隊潤沢定着

期 日：8月10日～17日 (8日間)

メンバー：Ii、Su、Ii、Hi、Ku、Na
ルート決定：

8/10～12 Ii、Ii ドーム中央稜

委員会報告 (8/21)

場 所：エポックなかはら 7階 和室

出席者：Ii、Su、Ya、Uu、Aa、Ii

1、夏山合宿まとめ

Ii、Iiの2名で滝谷ドーム中央稜へ、Iiが第1回日本アルプス縦走を計画しましたが、日本海（早月川河口）を振り出しに剣～雄山～薬師岳～双六岳～槍ヶ岳を走破した所で上高地へ下りました。

後半隊（涸沢ベース）は天候悪化のため中止としました。そのため、今年の夏山は二隊のみで活動を終了しました。

2、川山協 夏山技術交流会について

当初、八ヶ岳の稲子岳で行う予定だったが安全上の観点から三つ峠 RCT に変更。

期日は 8 月 31 日(土)～9 月 1 日(日)

橋は係を Su として以下で参加

L.Su、Sa、Ii、Ko、Na、Hi

3、丹沢 BBQ&救助訓練について

日 時：9 月 28 日(土)～29 日(日)

係：Aa

場 所：BBQ は 9/28 戸沢の出合駐車場

救助訓練は 9/29 モミソ岩

※年間計画に入っていない山行であり、準企画山行として実施することとしました。そのため、個人山行を組む会員は個人山行を優先して構いません。

※BBQ 山行はめったにない山行です。奮ってご参加してください。家族や友人の参加、大歓迎です。

4、冬山合宿(案)について

委員会としては槍・穂高山域を第一候補として、10 月の下見、年末年始の本番に向けて準備したいと考えています。

希望のルート、スケジュール等を各自考えておいてください。

5、その他

山行計画書の標準フォームを更新 (ver8.5 →8.6) しました。

後日メールにて流しますので活用してください。

《今後の予定》

◎9 月度の集会

日 時：9 月 4 日(水) 19:30～

会 場：高津市民館 11 階 第 1 会議室

内 容：・夏山合宿の報告

- ・BBQ&救助訓練参加確認
- ・企画山行報告 (川山協・三つ峠)
- ・冬山合宿について
- ・その他

◎9 月度の委員会

日 時：9 月 18 日(水) 19:30～

会 場：エポックなかはら 7 階 和室

内 容：・BBQ&救助訓練最終確認

- ・冬山合宿について

・冬山偵察について

・その他

◎10 月度の集会

日 時：10 月 2 日(水) 19:30～

会 場：高津市民館 11 階 第 1 会議室

議 題：・BBQ&救助訓練報告

- ・冬山偵察参加確認
- ・冬山合宿について
- ・個人山行報告
- ・その他

今月の個人山行(7/22～8/25)

※先月の『個人山行』において、以下の山行が抜けていました。お詫びして追加させていただきます。

(7/7 車山 L.Ii、Ko)

7/22～28 幌尻岳、トムラウシ山

L.Sa、他 1 名

7/24 富士山 L.Ya

7/28 富士山 L.Fu

7/28 つづら岩 RCT L.Ii、Ko

7/28 富士山 L.Ii

7/28 雲取山 L.Ki

7/30～8/1 燕岳 L.Ho、他 1 名 (甥)

7/30 川苔山 L.Me

7/31 富士山 L.Na、他 2 名

8/2 塔ノ岳 L.Ya

8/2～4 富士山頂往復マニラック+ぐるっと富士山一周 100 kmウルトラマラニック

Ii、他

8/3 広沢寺 RCT L.Ya、Su、Ko、Na

8/3～4 五竜岳 Ha、他 1 名)

8/3～4 甲斐駒ヶ岳 L.Hi

8/4 大山イタツミ尾根補修

Ya、他岳連関係者 10 名

8/4 奥多摩・水根沢谷 L.Fu、Ka

8/4 八ヶ岳・県界尾根 L.Ii、Ko

8/4 高水三山 L.Mo

8/5～8 飯豊山 L.Me

8/10 塔ノ岳 L.Ku

8/10～11 山形・大朝日岳

L.Ha、他 1 名)

8/11 丹沢・鳥屋待沢右俣 L.Ii、Aa

8/18 広沢寺 RCT

L.Ya、Su、Hi、Ko、Na

8/18 富士山 L.Ii、Ko

8/24 瑞牆山 RCT L.Mo、Ii

8/24 檜洞沢 L.Ii

8/25 広沢寺 RCT

L.Ii, Ko, Hi, Ko, Na

個人山行報告

◎広沢寺 RCT (報告者: Ko ma)

8/25 L.Ii, Ya, Ko, Hi, Ko,

Na

Ii さん、Ya さん昨日はありがとうございました。

昨日は以下に分かれて練習

Ii→Ko, Ko

Ya→Hi, Na

Ii パーティは Ii さんトップで登り午前中は懸垂の練習。午後、Ii パーティは懸垂下降でのロープの結び替えから末端処理そしてロープダウン、懸垂時でのロープが絡まった想定での仮固定練習。

実際に私はロープが絡まってしまい、実践で仮固定をし、こういう風にやるのね〜と実感。

懸垂はいつも右方向でしかしなかったが、Ii さんに「両方できてたほうが良い」と言われ、昨日はほとんど左方向での懸垂を練習しました。

懸垂時、Ko さんがスタスタとマラソンでもするように降りていました。

非常に綺麗な降り方をしてるなあと感じました。

いう目的があり、旅行会社のツアーに申し込んだ▼最初予定したツアーは 20 日間で 5545m のカラパタールに登るだけのツアーだったため、「エベレスト B.C をぜひ見たい」ということで 2 日追加の 22 日間のツアーとなった▼荷物のほとんどはヤクが運んでくれる。個人が持つのは貴重品と雨具、防寒着くらいのものである。食べ物は日本料理を習ったキッチンボーイが 3 食作り、全てが美味かった。1 日に歩く距離も短くのんびりできた。お陰で、また機会があればぜひ行ってみよう、そんな気にさせてくれた 22 日間だった▼最近の若者は海外に行くのに何の抵抗もないようだ。現に毎年、何組も何回も出かける会員が増えている。それも“計画”“準備”“手続き”等に長い時間をかけることもなく、アツという間に行って帰ってくる▼会のジイさん組で「ヒマラヤトレッキングに行ってみないか」というと、一も二もなく賛成の声が上がる。良く海外に行く若者（で良いと思うが）に連れて行ってくれるか聞いてみると、これまたすんなりと決まる▼こんな訳で、何と 8 名もの身内のメンバーで“1956 年に日本人隊が初登頂したマナスルを巡る”トレッキング隊が誕生した▼行った結果は、荷は自分で背負う。食事は現地食を食べる。1 日の行動時間は長い時で 10 時間も歩いた。渡渉も迂回路もあった▼エベレストのトレッキングより遥かにきつuitと感じた。これが高い金を払った商業ツアーと安い個人ツアーの違いなのかと思いましたが、アツという間の 16 日間だった。しかも終わってみれば達成感は前回以上だ▼もう一度という気持ちが心の中にある。次はアンナプルナか? Y.O

《編集後記》

4 年ぶりにヒマラヤトレッキングに参加した。前回は「田部井淳子、植村直己等が世界最高峰を狙ったエベレスト B.C をこの目で見たい」と